

文武一体で 未来を拓く



滋賀県立 高島高等学校

Shiga Prefectural TAKASHIMA High School

令和8年度入学生用 学校案内 2026



『 とん こう ごう き
敦厚剛毅 』

文武両道 文武一体で未来を拓く

情に厚く、心が強く何事にも屈しないこと

学習と部活動を両立させて心身共に育つこと

創立 大正9年(1920年)
交通機関 JR近江今津駅下車 徒歩15分
課程 全日制

学科 文理探究科(2021年度新設)、普通科
教員数 52名
生徒数 537名(15クラス)

2021年度
新設

文理探究科 (1クラス)

進学に特化した学科です。より多くの学問分野に接し、より多くの人との協働の機会を大切にして、知的探究心を耕す取り組みから生徒たちの可能性を広げます。

主体的探究的な学びを通して難関国公立大学への進学を目指します。

文理の枠組みを超えた探究的な学び

世の中は加速度的に複雑化しており、社会の変化に瞬時に対応する力が求められています。そのためには、複眼的な視座を持つことが必要です。文系や理系といった既存の枠組みにとらわれず学際的に学ぶこと、自ら課題を見つけその解を求めて主体的に学ぶことを通して、どんな社会でも活躍できる人材を育成します。

きめ細かなサポート

年に2回の面談週間の実施に加え、文理探究科ではチューター制度を導入し、担任や部活動顧問に加えて相談できる教職員を確保しています。また進路指導課による進路面談も年に複数回実施しています。

少人数授業

国語、数学、英語、理科の科目を中心に、少人数授業を展開しています。1クラスを進路希望別の小グループに分けて学習する機会を設けています。個に応じたきめ細かな学習指導で、一人ひとりの力を伸ばします。



教育課程 文理探究科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
	1年	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	理数数学Ⅰ(専)			理数数学Ⅱ(専)	生物基礎	物理基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	総合英語Ⅰ(専)			エッセイライティングⅠ(専)	情報Ⅰ	総	特													
2年	論理国語	古典探究	公共	世界史探究/日本史探究/地理探究/	理数数学Ⅱ(専)			理数数学特論(専)	化学基礎	物理/生物	体育	保健	総合英語Ⅱ(専)	エッセイライティングⅡ(専)	家庭基礎	総	特																	
3年	論理国語	古典探究	総合英語Ⅲ(専)	英語究考(専・学)	体育	理数数学Ⅱ(専)			政治経済	文学国語	理科基礎演習(学)	情報演習(学)	詳説世界史究考(学)/詳説日本史究考(学)/詳説地理究考(学)	総	特																			
	2	2	4	3	3	4	2	6	1	4	1	4	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					

教育目標

教育基本法および学校教育法の精神に則り、人格を陶冶し、教養を高め、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、平和な国家社会の建設的な形成者を育成する。

とくに、能力・適性・進路に応じて、自主的・継続的努力の喜びを体験させる教育の実現に努める。



普通科 (4クラス)

高島高校には100年を越える伝統を受け継いだ懐の深い教育力があります。『敦厚剛毅』の校訓のもと、生徒たちが何事にも剛い心と厚い情熱をもって取り組む学校風土が、長い歴史の中で培われてきました。生徒たちは「文武両道」を合言葉に、部活にも勉強にもどちらも妥協することなく精一杯励んでいます。

A類型 (3クラス)

大学・短期大学・専門学校進学、就職を目指す

月～金6時間授業を実施し、基礎・基本を大切にします。学習にも特別活動にも、幅広く学校生活を充実させる教育課程を用意しています。

3年間文系科目を中心
に幅広く各教科の学習
をし、就職や公務員、
専門学校や大学への進
学等、幅広い進路希望
に対応します。



B類型 (1クラス)

難関私立大学・国公立大学
進学を目指す

週3回(月・火・木)7時間授業を実施し、5教科の学習時間を見直すなどして学力伸長を目指します。

国公立大学や難関私立大学への進学を実現させる文系科目中心の教育課程を編成しています。また、総合的な探究の時間、課題探究の取り組みなどは文理探究科と協働的に取り組みます。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
A類型	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合		数学Ⅰ		数学A	化学基礎		体育		保健	芸術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ		情報Ⅰ	総	特													
	2	2	2	2		3		2	2		3		1	2	3		2	2	2	2	1	1												
	論理国語	文学国語	日本史探究	公共		数学Ⅱ		生物基礎		体育		保健	英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		家庭基礎	総	特															
B類型	2	3	2	2		4		2	3		1	4		3	2	1	1	1	1	1	1	1												
	論理国語	文学国語	日本史探究	発展数学(学)	地学基礎	生物		体育	芸術Ⅱ	A選択*		英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ		総	特																	
	3	2	3	2		2		2	3		2	2	2	2	4	3	1	1	1	1	1	1												
	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合		数学Ⅰ		数学A	化学基礎		体育		保健	芸術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ		情報Ⅰ	総	特													
	2	3	2	2		4		2	3		2	1	2	4	3	1	3	2	1	1	1	1												
	論理国語	古典探究	公共	世界史探究/日本史探究		数学Ⅱ		数学B	生物基礎	地学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		家庭基礎	総	特															
	2	3	2	3		4		2	2	2	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	1	1												
	論理国語	古典探究	文学国語	世界史探究(学)/日本史探究(学)		数学Ⅰ 演習(学)		英語演習(学)	政治経済		体育		英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ		理科基礎演習(学)		情報演習(学)	総	特													
	3	2	3	2		2		2	3		2	1	4	3	2	1	3	2	1	1	1	1												

高島高校の学び

総合的な探究の時間



1 高島市議会議員 高島市役所 市民協働課 との地域連携

高島市が抱える課題を見つけ、その解決方法を探求します。高島市の強みを生かした街づくり、防災・観光・伝統や自然など、市役所の関係部署からの助言や・議員交流においての助言を受け、さまざまな視点から、よりよいまちづくりプランを提案しています。

2 高大連携

研究スキルとプレゼンテーション力を高めることと、自己のキャリア形成の方向性を見出すことを目的とした取り組みです。大学の先生や研究者の方をお招きして講義を受けたり、研究施設を訪問して見学したりします。



自習教室・質問コーナー

自学自習を徹底サポート

自習教室では2部屋 24席ずつあり、すべてパーテーションで区切られているので、一人でじっくりと落ち着いた空間で勉強に集中できます。また、質問コーナーが職員室のすぐそばに設置してあるので、わからないことが出てきたらすぐ先生に聞けて、その場でスッキリ問題解決できます！

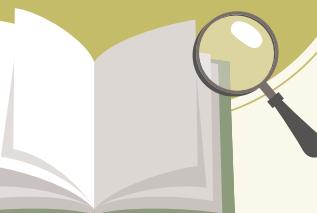


高島Academy

高島 Academy とは、1学年の文理探究科と普通科B類型の生徒が「総合的な探究の時間」の中で取り組む探究活動の1つです。文理探究科の生徒はアンドロイドの研究で有名な「石黒浩特別研究所」を訪問し、高島高校の卒業生である石黒先生のご講義を受けたり、研究施設を見学したりします。



魅力ある 教育活動・環境 の充実



3 大学教員ビジット授業

大学教員による授業を体験して学びの本質を学習し、難関大学への進学意欲を高める事業です。

昨年度は京都大学大学院農学研究科の木下政人先生、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科の原田英典先生、長浜バイオ大学アニマルバイオサイエンス学科の小倉淳先生、びわこ成蹊スポーツ大学スポーツビジネスコースの城島充先生にご教授いただきました。



4 卒業レポート

1969年(昭和44年)から卒業レポートに取り組んで56年、高島高校には半世紀も前から探究的学びを取り入れてきた歴史があります。

その歴史に加えて、昨年度からはレポートを論述した上にポスター やパワーポイントを使った発表にも取り組んでいます。問い合わせ立て、仮説を立てて検討するという探究的学習を通して、自分自身を見つめたり友人と協働的に学びを深めたりしています。



大阪大学 石黒浩教授(1982年卒) の卒業レポート

アンドロイド研究の世界的研究者の石黒先生は、高校時代美術部に所属し活躍されました。卒業レポートでは、「静物のもつ無限の美への追求」について記されています。その一部を紹介します。



要旨

百合・紫陽花をモチーフに、静物の持つ無限の美を追求するとともに、油絵を始めてからの三年間をふりかえる。

本文より

「石ころを見て長い地球の歴史を思うように、静物を見て感じるものは、人物や風景を見て感じるものより、はるかに神聖で、それはかつ無限である。私が静物を描く理由は、その中に無限の可能性が、無限の美が秘められているからであり、その無限の美を追求してみたい欲求に駆られるからである。」

読書活動

読書活動に積極的に取り組んでいます。総合的な探究の時間では、ビブリオバトルや新書の味見読書などの読書活動を通して、「読む・聞く・話す」といった探究的学習の基礎となる力を身につける取り組みを行っています。本校図書館には様々な図書や資料がそろっており、生徒のみなさんの読書活動や探究活動を支えています。



朝の10分間読書

各学期の読書週間では、朝の10分間読書に取り組みます。自分の選んだ本、好きな本を読むことで自発的な読書活動の充実を図り、読書習慣を身に付ける機会になっています。



校内読書感想文コンクール

毎年夏休み明けに校内読書感想文コンクールを実施し、自分の思いや考えを言葉で表現する力を育んでいます。校外のコンクールにも毎年複数名が入選するなど、活躍しています。



枠組みを越えた活動

1 DXハイスクール事業

2025年(令和7年)から採択校となりました。ICT機器やデータサイエンスを利用して、琵琶湖や高島市をフィールドに探究的な学びを進めていきます。数理・データサイエンスの分野で大学や研究機関との連携を図り、高精度な分析や検証を行ったり、専門家から直接的に指導や助言をしていただきます。また、本校生徒が、小中学校や地元自治体においてICTを活用した出前講座等も実施していく予定です。

2 AIの活用による英語教育イノベーション事業

文部科学省より、2025年(令和7年)から実証検証モデル校として指定されました。英語教育によるコミュニケーション能力の中でも、「話すこと」に重点を置き、効果的に生成AIを活用していきます。AIを活用することで、英語によるコミュニケーションに必要な知識・技能や表現力を身に付け、国際社会の一員として活躍できる人材を育成します。

3 SESH(しがアントレプレナーシップハイスクール)事業

2023年(令和5年)からしがアントレプレナーシップハイスクール(SESH)事業の研究指定校として指定されました。この事業は、総合的な研究の時間を通じて、企業関係者や学識経験者等の助言を受けながら、自分の将来を展望し、たくましく生き抜く態度や新たなものを切り開き創りだす能力を育成していきます。



4 東京大学の金曜特別講座

東京大学の先生方が全国の参加高校に向けてWeb配信している「高校生と大学生のための金曜特別講義」を本校生徒も受講できます。高度で専門的研究事項を高校生に分かりやすく解説してもらえる授業です。全国各地の高校生と一緒に受講でき、質疑応答も共有できるので、多様な考え方で触れて視野を広げることができます。

探究棟「高島ラーニングコモンズ(TLC)」

3階にはミーティングテーブルがあり、少人数単位でのグループ学習がしやすい環境も整っています。各グループで話し合いを行うことによって理解を深め、まとめた成果等をホワイトボードとプロジェクターを使用しポスターセッション方式で個別に発表することもできます。ICT機器が揃った環境を利用してことで、通常の教室で受ける授業と比較してより主体的・対話的な学習ができるようになっています。

魅力ある
教育活動・環境
の充実



5 科学探究活動

自然科学分野の研究を通して課題発見能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力を育成しています。2018年度より、膳所高校を拠点に県内6校で実施される「サイエンスプロジェクト」への参加をはじめ、様々な研究発表会に出場しています。2024、2025年度の2年任期で「TASUKI- 櫻 -Project」の一員として採択され、中高生の学会「サイエンスキャッスル2024 関東大会」では優秀ポスター賞を受賞し、「サイエンスキャッスルジャパン 2025」へ出場しました。今年度は世界大会である「サイエンスキャッスルワールド」に出席予定です。



6 英語探究活動

将来英語を使って国際的に活躍できることを目標におき、発音練習、レシテーション、ディベート、英会話などの活躍に加え、小学校への出張授業や東京研修など校外での活動も積極的に行っています。レシテーションコンテストやディベート大会への参加を通し、アカデミックに英語を学ぶことに加え、英語を使いクッキングをするなど実用的に英語を使い、会話力も鍛えています。レシテーションコンテストにおいては、毎年賞を獲得するなど、全員で切磋琢磨して取り組んでいます。



ICT活用・学びのアクティビティ

様々なに変化する社会に対応し、周囲の人と多様につながって協働できる力の育成のために、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。



ICT活用

本校ではICT環境を整備し、学習効果を高める取組を行っています。例えば、個人の意見やグループの考えをクラス全体で共有したり、探究活動の成果をプレゼンテーションしたりするのにタブレット機器やプロジェクターを使っています。

iPad(BYOD 端末)を活用し、学校での教育活動だけでなく家庭学習でもICTを使って運動的・継続的な活動を実現しています。



「協働的学び」

探究棟「高島ラーニングコモンズ」を効果的に活用しながら、総合的な探究の時間や各授業においてグループでの協働的学習やプレゼンテーションなど、探究的な学びを実現しています。

